

## 6月市議会定例会

### 一般質問

6月市議会定例会では、6月13日(火)から15日(木)の3日間の日程で11人の議員が一般質問を行い、市政について、市長をはじめ関係理事者の考えなどをたずねました。紙面では各議員の質問の主なものを要約し、質問順に掲載しています。なお、未掲載の質問などは、会議録やホームページをご覧ください。

### 6月13日(火)

#### 自民クラブ 藤田豊治 (30分)



- (1) 施政方針と市長の政治姿勢について
- (2) 教育行政について
- (3) 微量採血によるがんリスクの早期判定について
- (4) 熊本地震から学ぶ非常時の対応と防災について

#### (4) 熊本地震から学ぶ非常時の対応と防災について

**問** 愛媛県は熊本地震の教訓を

生かすべく今年3月、非常時に迅速な対応が取れるよう道路の応急復旧や仮設住宅のガイドラインを新たに策定されたが新居浜市として今後どのような災害想定が3年前に県から報告があり死者数の想定が1千84人だったか新居浜市の対応は。

**答** 発災時にはガイドラインを有効に活用し、県及び建設業協会などと連携の上、応急復旧に努めるとともに、喫緊の課題である応急仮設住宅建設候補地の確保に努める。また、地震被害想定調査最終報告を受けての対応としては、建物の耐震強化や家具転倒防止対策への補助、津波避難訓練の実施などを行っており、今後もこれらの事業を継続するとともに、市民への普及啓発を行い、災害での犠牲者が減少するよう努める。

#### 公明党議員団 高塚広義 (30分)



- (1) 本市の明るい話題について
  - ① 住友共同電力の新火力発電所建設計画

- (2) 教育行政について
  - ② コミュニティFM開局計画
  - ① 教員の働き方改革

- ② 小中学校トイレの洋式化
- ③ 小中学校の暑さ対策
- (3) がん検診について
- (4) 健康づくりについて
- (5) 地域の要望について

- ① 通学路のグリーンベルト
- ② 学校施設

#### (1) ① 住友共同電力の新火力発電所建設計画

**問** 住友共同電力が住友化学愛媛工場内に新設する液化天然ガス(LNG)火力発電所建設と、燃料のLNGを受け入れる基地の整備計画が新聞で報道された。新居浜市にとっては、様々な面で大きな恩恵が期待できると思われるので、本市としても可能な支援をしていただきたいが、ご所見を伺いたい。

**答** 今後の新たな連携や地域への経済波及効果に期待するとともに、省エネ、CO2削減による環境負荷低減やエネルギーの多様化につながる事業が新居浜市で取り組まれることを大変喜ばしく思う。具体的な事業化については、検討結果をもとに判断される予定とのことであるが、本市としても、この事業が円滑に推進されるよう、企業立地促進条例に基づく奨励措置な

どを含め、最大限の支援に取り組む。

#### いずみ会 伊藤優子 (30分)



- (1) 市長の行政運営について
- (2) 地域コミュニティの充実に

- ① 自治会活動の活性化
- ② 自治会加入率の向上

- (3) ごみの減量化と3Rの推進について
- (4) 商業の振興について

- (5) 街路樹について
- (6) 学校教育について

- ① 部活動

#### (5) 街路樹について

**問** 市内の道路の街路樹と自転車レーンについて、周辺に住んでおられる皆さんの意見をお聞きし、植えない選択も含めて、自転車レーンの確保と安全性を含めた今後の街路樹の展望はどうなっているか。

**答** 今年度惣開通りの一部区間の交通渋滞対策として、街路樹を撤去し、右折レーンを延伸する計画を策定する予定だが、その際に、沿線居住者の皆様などと協議をし、街路樹の撤去や歩

道の縮小などに関する意見をいただき、それを参考にして街路樹の撤去と自転車通行空間の整備の方向性を検討したい。また、今後整備する道路については、街路樹の管理に対する市民ニーズや管理費用、自転車走行空間の整備計画などを勘案し、樹種や本数などの検討だけでなく、植樹帯そのものの設置の有無も含めて検討する。

6月14日(水)

無党派

藤田 幸正 (20分)



- (1) 新居浜市歌の普及について
- (2) ラジオ体操の活用について
- (3) 自治会活動について

(1) 新居浜市歌の普及について

**問** 本市は昭和22年市制施行10周年を記念して市歌を制定している。制定後70年を経過しているが市民への普及度は低い状況である。市制施行80周年を契機として、市歌の普及に努め、市民が誇りや愛着を持って歌えるよう、各種行事の機会を捉え、

市歌を普及活用すべきと考えるが、ご所見を伺いたい。

**答** 11月3日の市制施行80周年記念式典において、御来場の皆様とともに市歌を斉唱し、これまでの市政の隆盛を慶賀するとともに、今後のさらなる飛躍発展を祈念する予定である。今後一層、各種行事や式典など、さまざまな機会を捉えて普及浸透を図り、市歌が市民に親しまれ、市歌を通じて郷土愛や新居浜市への愛着心が醸成されるよう努める。

無党派

神野 恭多 (10分)



(1) 誇れる未来へのまちづくりについて

- ① 四国新幹線の実現
- ② 時代に合ったまちづくりの推進
- ③ ビジョンを持ったまちづくりの推進

(1) ① 四国新幹線の実現

**問** 人口減少社会の大きな荒波がいや応なく押し寄せる中、新幹線の空白地帯である四国への整備は不可欠だと考える。四国新幹線実現を目指し、さらに市

民の機運を醸成していくことが重要だが本市のお考えはどうか。また、新幹線が実現した際、本市に高松・松山間の中間駅の誘致が必至であるが、ご所見を伺いたい。

**答** 新幹線の実現に向けては、息の長い取り組みとともに、官民一体となつてさらに機運を盛り上げていく必要がある。今後も期成同盟会や関係機関と連携し、国への要望活動を行う他、本市でのパネル展を開催するなど、実現に向け、機運の醸成を図っていく。また、中間駅の誘致についても重要課題と認識し、動向を十分注視するとともに働きかけを行っていききたい。

無党派

岡崎 溥 (10分)



- (1) 市民の厳しい生活実態について
- (2) 家庭ごみの一部有料化について
- ① 有料化を進める理由
- ② 地方自治法第227条違反
- ③ 税金の二重取り
- (3) 下水道使用料の見直しについて

(2) 家庭ごみの一部有料化について

**問** 見直しの理由と検討、実施の時期

② 市民の負担をふやさない検討

(4) 手数料、その他の使用料の見直しについて

- ① 見直しの理由と検討、実施の時期
- ② 市民と文化・体育施設
- (2) 家庭ごみの一部有料化について

**問** 実質賃金の低下や年金収入の減少、雇用の不安定化など、市民の生活は大変厳しい。家庭ごみの一部有料化は、罰則的なやり方であり税金の二重取りとなる。これは、自治体としてとるべき方策ではない。ごみの減量、リサイクル率アップを市民に率直に訴え、全員参加で進めべきだ。

**答** ごみの有料化については、全国の約8割の自治体が何らかの有料化を実施しており、国の廃棄物の減量等の基本的な方針において、有料化の推進を図るべきと明確化されている。ごみ有料化の第一目的は、ごみの減量であり、市民、事業者、行政が共に協力し、10種分別の徹底や資源ごみ集団回収、コンポストの普及など、ごみ減量3R推進の取り組みや啓発などの減量対策も並行して検討していく。

自民クラブ  
永易英寿 (30分)



(1)子育て支援の充実について

①兄弟で別保育園の解消

②隠れ待機児童対策

③子育てひろばでの一時預かり

(2)教育施設の整備充実について

①小中学校のエアコン設置

(2)学校トイレの洋式化

(3)放課後の学習支援の充実について

(4)若宮小学校の跡地活用について

(5)シテイブランド戦略について

(6)地元配慮した入札制度改革について

①総合評価落札方式の導入

②最低制限価格制度の対象範囲拡大

(2) ① ② 学校トイレの洋式化

問 小中学校のトイレの洋式化

は33・1%にとどまっているが、目標値など今後の整備計画は、子どもたちがどんな不便を感じているか、アンケートなどでニーズを把握(調査)するお考えは。災害時の避難所としても、体育館横に多目的トイレの設置を急いでいただきたい。

答 現状では大規模改修工事などに合わせた整備や日常の修繕などに伴って洋式化を進めており、今後、洋式化率60%以上を目指して改修を進める予定である。また、来年度予算に間に合うように子どもたちにアンケート調査を実施し、意見を把握したい。体育館横への多目的トイレの設置については、新設も含めて検討したい。

6月15日(木)

いずみ会

三浦康司 (20分)



(1)新居浜市職員の募集について

(2)運転免許の自主返納支援制度について

(3)公営住宅等長寿命化計画について

(4)鳥獣害対策について

(1)新居浜市職員の募集について

問 新居浜市職員の一般事務採用試験で、平成18年から高等専門学校の卒業生らが対象の中級試験を実施していないのは疑問である。広く門戸を開き、優秀な人材を求めるべきだと思いが

いかがお考えか。

答 受験機会の均衡を図るため、また、より多くの方に受験していただき、より優秀な人材を幅広く採用するため、高等専門学校を初め、短期大学、専門学校などを卒業された方が受験機会を得られるよう、一般事務の受験資格を拡大したい。まずは、今年度秋に実施予定の一般事務初級の受験枠を拡大し、来年度に向けて中級の受験枠を含む受験制度全体について検討したい。

自民クラブ

小野辰夫 (30分)



(1)ふるさと納税の今後について

(2)寄附文化と市民活動について

(3)自治会加入減少問題について

(4)市境の行政課題について

①3市連携

②防災

③防災対策

(4)市境の行政課題について

問 新居浜・西条・四国中央市の3市連携における市境自治体との地域課題解決の取り組みに

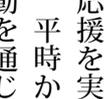
ついて。①市民サービスなど行政の違い。緊急の119番通報の対応。道路インフラ整備の違い。

②火災時の常備消防・非常備消防連携、鳥獣被害対策③集中豪雨時防災対策など具体的な取り組みが必要だと思いがどうか。

答 地方創生の取り組みを推進するため東予ものづくり三市連携推進協議会を設立しており、市境の行政課題についても必要に応じて両市と検討したい。また、各種協定に基づき119番通報へのスムーズな対応や大規模火災などへの迅速な相互応援を実施することとしており、平時から近隣市との消防団活動を通じた協力体制を構築している。防災対策については、東予地方局管内で設置されている防災減災対策連絡会などさまざまな機会を通じて情報共有を図り、連携強化に努める。

無会派

米谷和之 (20分)



(1)新居浜太鼓祭りの正常化について

①祭りに対する市のスタンス、現状認識

②施策における現状認識、影響

無会派

米谷和之 (20分)



問 新居浜・西条・四国中央市の3市連携における市境自治体との地域課題解決の取り組みに

ついて。①市民サービスなど行政の違い。緊急の119番通報の対応。道路インフラ整備の違い。

②火災時の常備消防・非常備消防連携、鳥獣被害対策③集中豪雨時防災対策など具体的な取り組みが必要だと思いがどうか。

答 地方創生の取り組みを推進するため東予ものづくり三市連携推進協議会を設立しており、市境の行政課題についても必要に応じて両市と検討したい。また、各種協定に基づき119番通報へのスムーズな対応や大規模火災などへの迅速な相互応援を実施することとしており、平時から近隣市との消防団活動を通じた協力体制を構築している。防災対策については、東予地方局管内で設置されている防災減災対策連絡会などさまざまな機会を通じて情報共有を図り、連携強化に努める。



新居浜市議会事務局



←新居浜市議会のホームページへ  
映像配信や会議録でさらに詳しく！

〔答〕各地区太鼓台運営委員会・協議会の代表者から成る新居浜市市制施行80周年記念太鼓祭りイベント実行委員会を設置し、平和運行に関する申し合わせ事項を決定しており、記念事業にふさわしい事故のないイベントの実現に向け、市としても強い意志を持って取り組む。高校生が参加できるようにするために、市制80周年を平和運行元年とし、市民が誇れる伝統文化行

〔問〕3千万円の公費を支出し開催される80周年記念統一寄せでの鉢合わせ防止に市は主催者としてどう取り組んでいるのか。  
「高校生が参加できる新居浜太鼓祭りの実現」を目標に掲げ、市制80周年の今年を太鼓祭りの正常化を目指すスタートの年にしようと市長自らが広く市民に呼びかけてはどうか。

ア 伝統文化の継承  
イ シティブランド戦略等  
**(3)新居浜太鼓祭り市制施行80周年記念イベントへの対策、影響**  
(4) 高校生のかき夫参加の実現

## 9月市議会定例会

お気軽に傍聴にお越しください。

会期 9月5日(火)～9月22日(金)

時間 午前10時開会

場所 本会議の傍聴：市役所7階本会議場傍聴席  
委員会の傍聴： // 6階各委員会室傍聴席

放映 本会議はCATVで生中継、録画放送および市議会ホームページで動画配信を行います。

開催日	内 容
9月5日(火)	議案上程、説明、質疑、委員会付託
9月12日(火)	一般質問 近藤 司 議員 (40分) (代表) 佐々木文義 議員 (40分) 大條 雅久 議員 (40分)
9月13日(水)	一般質問 藤田 誠一 議員 (30分) (個人) 岡崎 溥 議員 (10分) 神野 恭多 議員 (10分) 伊藤 謙司 議員 (30分) 篠原 茂 議員 (30分)
9月14日(木)	一般質問 岩本 和強 議員 (20分) (個人) 真木増次郎 議員 (20分) 井谷 幸恵 議員 (10分) 太田 嘉一 議員 (20分)
9月15日(金)	福祉教育委員会開催 (予定) 環境建設委員会開催 (予定)
9月19日(火)	企画総務委員会開催 (予定) 市民経済委員会開催 (予定)
9月22日(金)	委員長報告、討論、採決

- 〔1〕学校給食について  
〔2〕新居浜の宝、自校給食の存続  
〔3〕道徳教科書採択について
- ①進捗状況と市民への影響  
②全児童生徒の給食費の無料化  
③国保の県単位化について  
④1世帯1万円の引き下げ  
⑤道徳教科書採択について  
⑥採択の仕組み

事として次世代に引き継いでいくよう、関係者と一丸となって積極的に取り組む。

無会派  
井谷 幸恵 (10分)



〔2〕現場の声の尊重  
〔1〕①新居浜の宝、自校給食の存続  
〔問〕6校において衛生管理基準上広さが足りないことが判明。だからといって即センター方式ではなく粘り強く自校や親子方式を追求してほしい。子どもにとっては自校給食がいいに決まっている。学校と共に給食室はある。手間暇かけて子どもを育てる。これが評判となり人口増にもつながるのではないか。

〔答〕自校方式、センター方式それぞれにメリット、デメリットがあり、市としては、今後いずれかの方式を選択し、そのメリットを生かしていくべきと考えている。整備方式については、総合的な観点からの判断が必要と考えており、PTAや市民の皆様のご意見を広くお聞きし、最終決定する予定である。

議事課  
☎ 65・1321  
☎ 65・1322